

[自然と人間の共生/春の小川プロジェクトニュースレター]

# 春の小川通信

2009.2.28

Vol.1

## 春の小川プロジェクトいよいよスタート!

春の小川プロジェクトの設立総会が、2008年11月19日(水)カワヨグリーンロッジで開催されました。

発起人の杉本健さんの司会進行で始まり、発起人代表の川口彰五郎さんより、設立に至った熱い思いをお話していただきました。

事務局担当の松林由範さんより設立趣旨の説明があり、続いて、会の規約や本年度の事業計画等を審議し、会長に川口彰五郎さんが選任されました。

引き続き行なわれた、設立記念パーティでは、来賓の三村正太郎町長より「この活動は、地球からみれば小さいことであるかもしれないが、とても尊い活動である」という心強いお祝いの言葉を頂戴いたしました。鈴木泰文副会長の乾杯で始まったパーティは、和やかな雰囲気で行われ、この日誕生日だった川口会長のためにと、藤ヶ森和子さんの提案で、女性陣による歌のプレゼント♪があり、とても素敵なサプライズとなりました。

今後の活動として、春の小川の風景など、ふるさとの美しい自然を守るため、環境調査や自然体験活動、講演会等を予定しており、既に、11月24日(土)には、明神川ウォークが行なわれ春の小川再生への思いを強くしました。

設立時39個人・7団体が、現在61個人・7団体となり、町内だけにとどまらず、賛同者が増えてきています。

～自然を愛する輪がもっともっと広がることを願います～

「春の小川プロジェクト」は、自然と人間の共生を基本理念として次のことを目指します。

- ① 「フナ帯文化」の伝統を受け継ぐ地域づくり
- ② 里山に代表される身近な自然環境や生態系の保全と復元
- ③ 自然を活用した各種の体験を通じた環境教育の推進
- ④ 以上の活動を推進するために必要な調査研究・学習活動と指導者の育成



**フナ帯文化** フナ林に代表される落葉広葉樹林地帯では、縄文の昔から東日本の風景を形づくり、フナ帯文化を育んできたといわれています。フナ帯文化は日本の基層文化を生み出した母胎として、自然と人間のかかわり方を考える上で、私たちの活動にとっても大切な視点を与えてくれるものです。